

学習過程におけるICTの主な活用の仕方 道徳科

男鹿市立船川第一小学校

| <学習過程> | <学習の進め方> | <使用するICTの機能> |
|------------------|--|--|
| <p>問題を発見する</p> | <p>... ・既習とのズレ(問題発見①)、素朴な疑問(問題発見④)などから、問題を発見する。</p> | <p>... ・道徳的価値に関わるニュースなどの動画資料の視聴 ・配付された新聞記事などの資料の拡大表示 ・道徳的な課題を自分事として捉えることができるようなアンケート結果の可視化、マスキング</p> |
| <p>見通しをもつ</p> | <p>... ・問題意識を基に、課題を設定する。</p> | <p>... ・スマイルノートへの自分の立場の記入</p> |
| <p>問題を解決する</p> | <p>... 自分の考えをもつ ・自分の考えをもつ。 ・友達の考えを知る。</p> <p>友達と学び合う ・少人数でお互いの考えについて根拠に基づき、話し合う。 ・友達との対話を通して、道徳的価値を理解する。</p> | <p>... ・スマイルのノートへの書き込み ・多面的・多角的に考えることができるように、内面を可視化し整理する思考ツールへの記入 ・スマイルノートへ書き込まれた友達の考えの共有</p> <p>... ・共有した友達の考えを見て、相手を決めておいてからの話合い ・思考ツールを活用した話合い</p> |
| <p>全体で学び合う</p> | <p>... ・道徳的価値に対する多様な意見を知り、改めて自己を見つめ、課題についてもう一度考える。</p> | <p>... ・アンケートと学級の実態との違いの可視化 ・変容の自覚化</p> |
| <p>まとめる・振り返る</p> | <p>... ・本時で扱った道徳的価値に対する思いや願い、考えを振り返る。。</p> | <p>... ・スマイルノートへの振り返りの記述 ・スマイルノートでの自分の立場の記入と変容の自覚や友達の考えの変容の共有</p> |

の部分は、自分で考える→友達と学び合う→自分で考えるの順に学習を進めていくが、子どもによって時間配分が違うので、子どもが自分で調整しながら学習を進めていくこととする。